

東静岡地区まちづくり基本構想 (骨子)

●未来につながる持続可能で住みやすいまちづくりを、公民共創で進めます

人口減少や地球温暖化といった時代の大きな変化を認識し、**SDGs未来都市**として、20年、30年、その先を視野に入れながら、**未来につながる持続可能で住みやすいまちづくりを、公民共創**で進めていきます。

●東静岡地区まちづくり基本構想（骨子）の構成

東静岡地区は、アリーナや新県立中央図書館の整備計画が進んでおり、今後のまちの将来像を描く好機となっています。「東静岡地区まちづくり基本構想（骨子）」では、東静岡地区の**めざす将来像**や、その実現に向けた**まちづくりの5つの視点**、**まちづくりの主要プロジェクト**について示します。

1. めざす将来像 (p1)

：東静岡地区のまちづくりを進めるにあたり、
地区のめざす将来像を示します

2. まちづくりの5つの視点 (p2~4)

：めざす将来像の実現に向けた
まちづくりの5つの視点を示します

3. まちづくりの主要プロジェクト（例） (p5~8)

：まちづくりの5つの視点を踏まえて、
先行的に実施していく取組を示します



令和7年2月

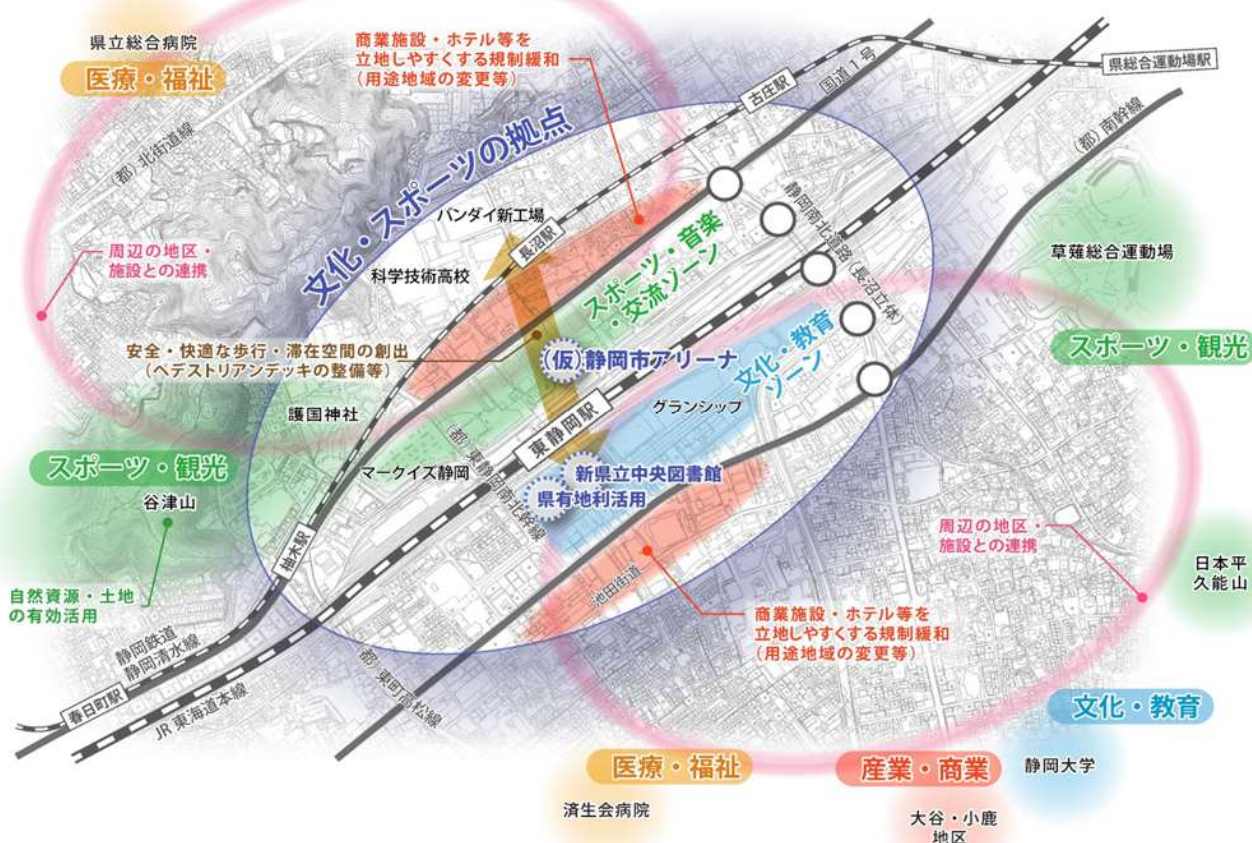


1. めざす将来像

「新たな文化・スポーツの拠点づくり」と「快適で住みやすい住環境づくり」
～最先端の文化・スポーツ等による新たな交流・滞在の創出と、安心して住み続けられる
住環境が共存する、非日常と日常が融合した新時代のまちづくり～

- ・ JR東静岡駅北口のアリーナ、南口の新県立中央図書館や、既存のグランシップ等の施設（ハード）と、まちで提供・実施されるサービス・活動（ソフト）が連携することで、まちに新しい価値（最先端の文化・スポーツ・エンタメの体験・体感など）をもたらします。
- ・ この新しい価値を上手に活用し、JR東静岡駅周辺に商業施設・ホテル等を含めた人が集まる魅力的な都市空間を形成するとともに、ペDESTリアンデッキの整備や次世代モビリティの導入等により、誰もが移動しやすい・住みやすいまちづくりを面的に広がりのある範囲で進めていきます。

<まちづくりの将来イメージ>



アリーナを核としたまちづくり



長崎スタジアム（提供：長崎スタジアムシティ）

アリーナ単体ではなく、駅直結のアリーナを核として、観る・学ぶ・憩う・買い物する・食べる・泊まるなどの多様な魅力があふれる、公民共創のまちづくりを進めます。

まちをつなぐペDESTリアンデッキ



エディオンピースウィング広島

JR東静岡駅や静鉄長沼駅とアリーナをペDESTリアンデッキ等で一体的につなぐことにより、まちに訪れる人々・暮らす人々が安全・快適に歩行・滞在することができます。

2. まちづくりの5つの視点

「まちづくりアイデアコンペin東静岡」（以下「コンペ」）の提案や、「東静岡地区まちづくり協議会」（以下「協議会」）での議論を踏まえ、東静岡地区の将来像の実現に向けた**まちづくりの5つの視点**を設定しました。

①【文化・スポーツ】文化・スポーツの拠点としての、まちの新たな価値づくり

- ・ JR東静岡駅北口の**アリーナ**や、南口の**新県立中央図書館**の整備を活かした、文化・スポーツと触れ合える空間づくり
- ・ 既存のグランシップを含めた各ハード施設の連携と、施設を活用した「**人が集まる仕組みづくり**」
- ・ ものづくりや文化・スポーツの資源を活かした滞在・交流による、**新たな価値・魅力の創出**

○新たな価値を創出する文化・スポーツの拠点の事例（北海道ボールパークFビレッジ）



※出典：北海道
北広島市ボール
パーク特設サイ
ト（HP）

②【若者・子ども】若者や子どもが、夢や希望を持てるまちへの転換

- ・ 若者が「**住み続けたい、訪れたい**」、進学や就職で一度静岡市を離れても、**帰ってきたくなる**まちづくり
- ・ 市外・県外の方が「**住んでみたい、訪れてみたい**」と思えるまちづくり（交流人口の創出）
- ・ まち全体で「**青春（自分のやりたいことに向かって真剣に取り組む状態）**」を、育み・支え・応援できる空間・仕組みづくり
- ・ **学生や子ども達と地域をつなぐ場**での滞在・交流を通した、地域への関心や愛着の醸成

○学生と地域をつなぐ場づくりのイメージ

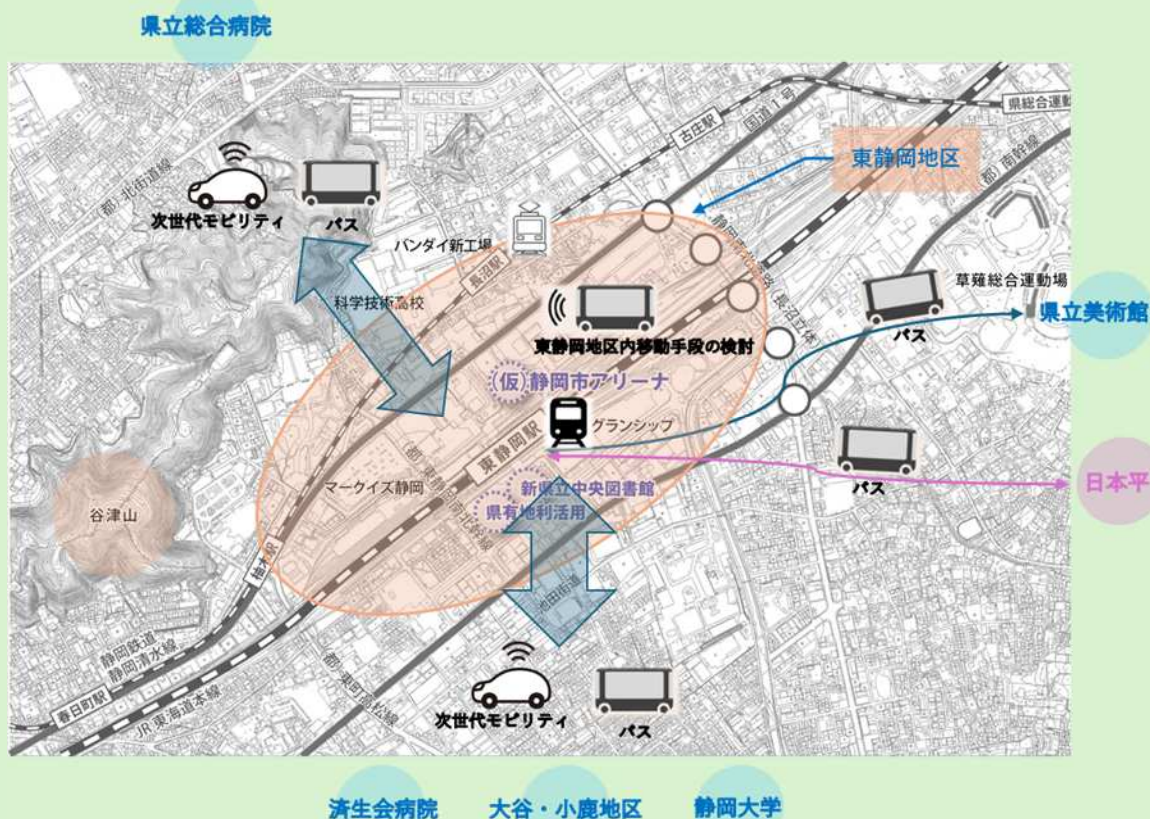


※出典：ノマド学習
からはじめる若者の
関わりしろ（コンペ
提案作品）

③【都市交通】誰もが移動しやすく、住みやすいまちづくり

- 公共交通や自転車、次世代モビリティの導入も含めた、**誰もが移動しやすいまちづくり**（バリアフリー、ユニバーサルデザイン、利便性の高い公共交通、自転車の走行空間や駐輪スペースの確保等）
- 安全・安心で住みやすいまちづくり**（新たな技術・交通体系を活用した、県立総合病院・済生会病院等の**医療・福祉施設**や、高校・大学等の**教育施設**、大谷・小鹿地区の**産業・商業施設との連携**）
- JR東静岡駅～静岡鉄道長沼駅間の連絡動線強化（歩行者と車の動線分離：ペDESTリアンデッキの整備等）
- 地域の生活環境の保全に向けた、国道1号等の**道路の渋滞対策**

○誰もが移動しやすく、住みやすいまちづくりのイメージ



④【土地利用】人々の交流や、豊かで心地良い生活を生み出す空間づくり

- 都市計画に定める**地域地区（用途地域や高度地区等）**の見直し（**工業系用途地域の商業系用途地域への変更等**）による**良質な民間投資の誘発**（ホテル・商業施設等の立地や、**生活環境の改善**）
- 多様な人々が思い思いに過ごすことができる、**人中心で居心地が良く歩きたくなる空間づくり**
- 広場や公園、道路、公開空地など**公共的空間の設えや使い方の改善**
- 公共施設・民間施設のオープンスペースにおける**居場所となる空間づくり**
- 市民の活動の起点となる小さな場の点在による、まち全体への**人の流れの創出**

○用途地域による市街地像のイメージ



工業地域



準工業地域



商業系用途地域

※千葉市HP資料を加工して作成

○人中心で居心地が良い空間づくりのイメージ



⑤【グリーン】 緑と調和した都市環境づくり

- ・ 健康で快適な生活・気候変動対策・生物多様性の確保等に向けた、**緑地保全**や**緑化推進**
- ・ 谷津山などを市民が身近に自然と親しむ**里山公園**として活用
- ・ 公共建築物や民間施設での敷地内緑化などによる、**良質な都市緑地**の創出
- ・ 環境に配慮した**都市開発事業**の促進（ZEB、再生可能エネルギーの導入等）

○谷津山の自然環境



○市民との協働による谷津山の保全活動



○都市緑地（街路樹・公園等）の保全



○ペDESTリアンデッキ高架下を活用した緑化イメージ



※出典：Living in New Society（コンペ提案作品）

3. まちづくりの主要プロジェクト(例)

まちづくりの5つの視点を踏まえて、先行的に実施していく取組を**主要プロジェクト**として位置付けます。今後、協議会での議論等を踏まえ、プロジェクトを追加していきます。

①（仮称）静岡市アリーナ

■めざすアリーナ

- ・ 最高峰の**プロスポーツ**の試合や大きな**コンサート**など、これまでの市内の施設（中央体育館、市民文化会館など）では開催できなかった、さまざまな大型イベントを開催できる**多目的アリーナ**（8,000席以上）の実現をめざします。

地域のためのアリーナ

- ・ 東静岡の文化・スポーツの拠点になるとともに、地域のまちづくりや防災にも役立えます。

集うアリーナ

- ・ 市民、市外や県外から人が集まり、新たな交流や経済効果を生みます。

選ばれるアリーナ

- ・ いろいろな演出ができて、イベント会場として使いやすい、主催者や観客から選ばれるアリーナとします。

観るアリーナ

- ・ バスケットボールやバレーボールなど、最高峰のプロスポーツの試合や、大きなエンタメイベントを実現します。

持続可能なアリーナ

- ・ 民間のアイデアを活かした運営やサービスにより、将来にわたり魅力があり、収益を生み出すアリーナとします。



アリーナのイメージ（沖縄アリーナ）



バスケットボール



バレーボール



コンサート



光と音の華やかな演出

■防災施設としてのアリーナ

- ・ 大きな災害のときは、広い屋内スペースを活かした支援物資の受入れ、仕分けのほか、避難所として避難者の受入れを担う防災拠点となります。
- ・ 非常用電源や水などのライフラインを備えることで、地域に安心・安全をもたらします。

アリーナには、大型トラックがそのまま屋内（メインアリーナ）に入れる搬入口やコンクリート製の床、VIPルームなどの個室、セントラルキッチンを設けます。地震や風水害などの災害のときは、これらの設備が**緊急物資集積所**や**避難所**となります。

例えば、乳幼児同伴の方や要配慮者が個室を利用できるようにします。そのほか、市民や避難者への電気（スマホ等の充電）や水の供給、セントラルキッチンなどを活用した飲食の提供ができるようにします。



石川県産業展示館（内閣府HPより）



大型トラックが通れる搬入口
（SAGAアリーナ）



VIPルーム・プレミアムラウンジ（観戦だけでなく飲食も楽しめる個室）
（SAGAアリーナ）



セントラルキッチン
（沖縄アリーナ）

⑤ 新県立中央図書館

■県民が出会い交わり、新しい文化を育む図書館

- ・ 従来既存の図書館サービスを拡充するとともに、新たに「図書館の枠を超えた学び・交流し・創造する場」を整備します。

- ① 多彩な情報との出会いの場（映像・実物・デジタルなど様々なメディアで情報提供など）
- ② 人と人との出会いの場（出会い・交流する居心地のよいサードプレイス）
- ③ 新たな文化の創造・発信の場（県民交流・文化創造を手助けする設備・機能の設置）



※出典：静岡県HP

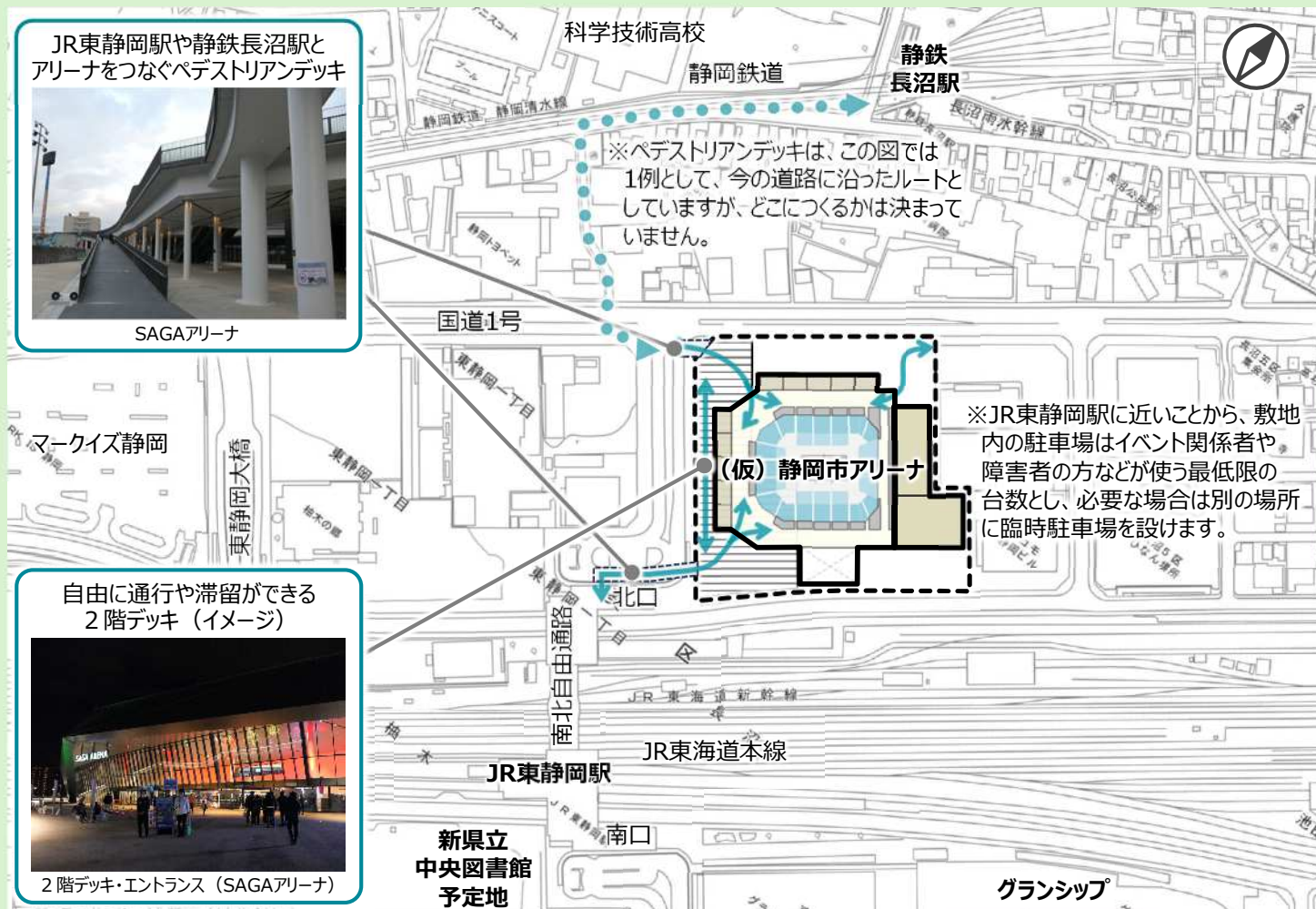
⑥ ペDESTリアンデッキ

■まちをつなぐペDESTリアンデッキ

- ・ JR東静岡駅、静岡鉄道長沼駅とアリーナをつなぎ、歩行者と自動車の動線を分けることで、来場者や住民が安全・快適に通行・滞在できるよう、ペDESTリアンデッキ（高架の歩行者空間）を整備します。

■ペDESTリアンデッキのルートの選定

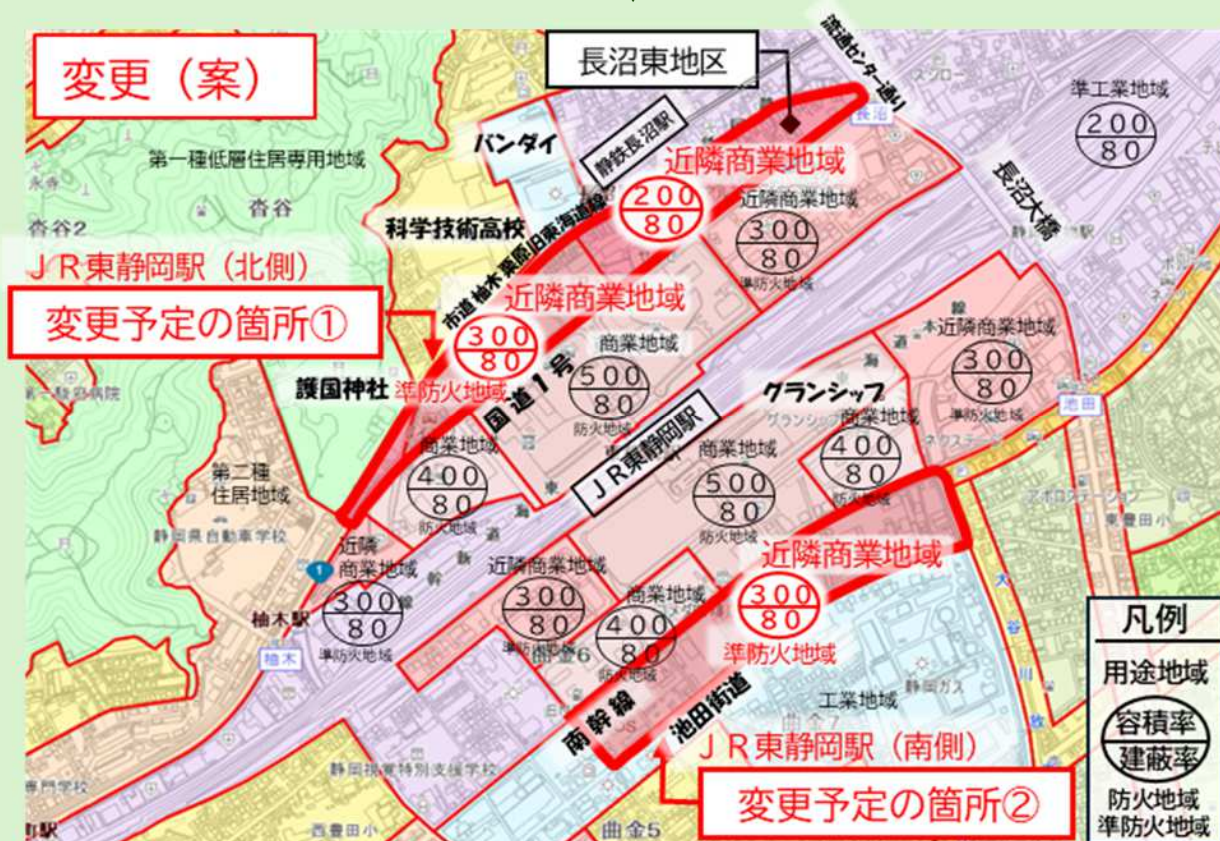
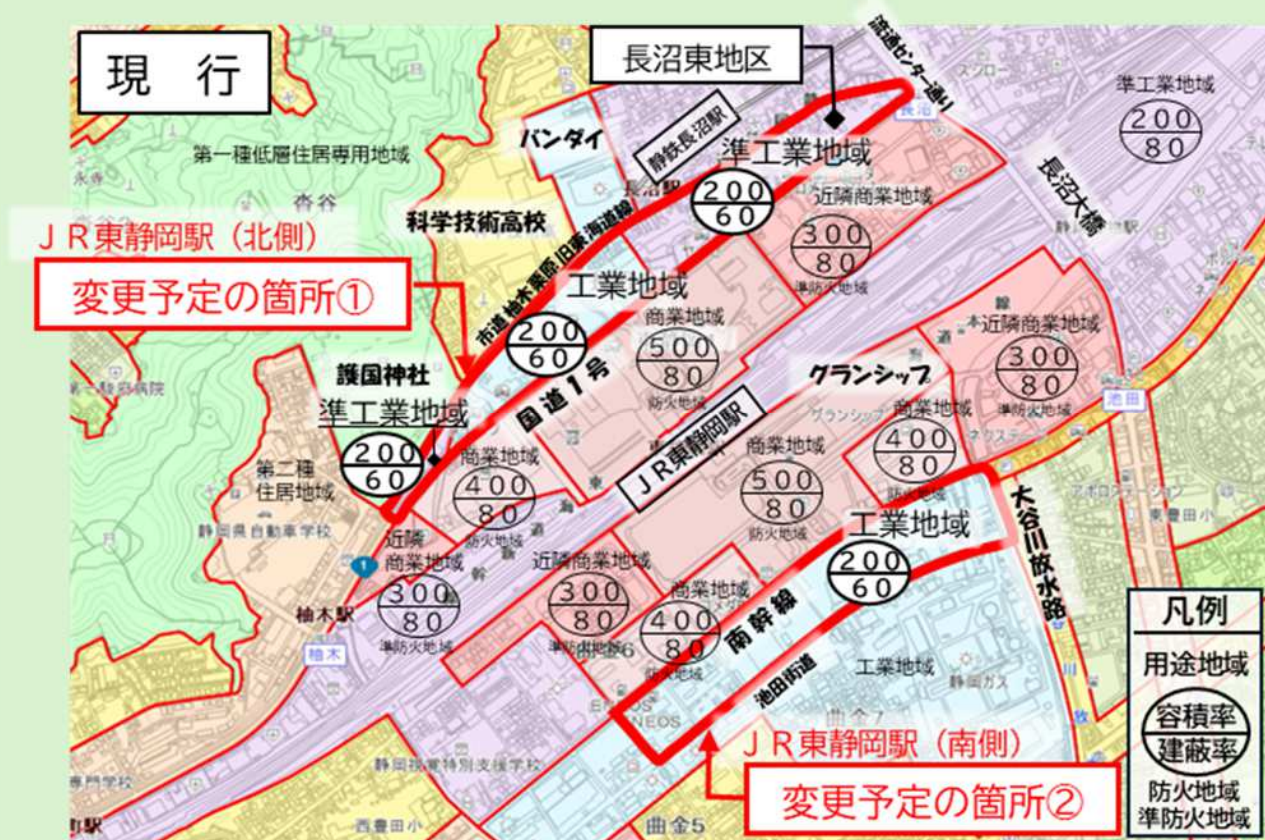
- ・ 東静岡地区のまちづくりの目指す姿「新たな文化・スポーツの拠点づくり」と「快適で住みやすい住環境づくり」を踏まえ、事業費や交通利便性のほか、交流・滞在の創出や住環境との共存などの観点から、最適なルートを選定します。



⑤ 都市計画の見直し

■用途地域等の変更

- 東静岡地区の新しいまちづくりにあたり、地区内の土地をより自由かつ高度利用し、商業施設やホテル等が立地しやすくなるよう、国道1号沿道、南幹線沿道等の用途地域を工業系から商業系に変更するなど、都市計画の見直しを検討します。ペDESTリアンデッキ等のインフラ整備に合わせて、その周辺の土地利用転換も検討していきます。



⑤ 地域との連携

■協議会での議論や地元自治会との連携

- 地元代表者や関係機関等により構成される協議会での議論や、地元自治会との連携により、公民共創による継続的なまちづくりに取り組んでいきます。
- 地域住民の皆さまには、まちづくりにおける各段階において、説明会等により丁寧な説明・意見交換を実施していきます。



協議会での議論の様子

●未来につながる新たなまちづくりを、地域の皆さまと公民共創で進めていきます

※以下は、コンペで提案していただいたアイデアの一部です

